

会 議 録

会議の名称	行田市在宅医療・介護連携推進協議会 患者情報共有・ICT 部会	
開催日時	令和5年9月14日(木) 開会；18時30分・閉会：19時15分	
開催場所	産業文化会館 第2会議室	
出席者(委員)氏名	藤井尚子、上村勇樹、松原克彦、小沼 豊蔵、石島弘美、平賀絵美、 淵上通子、大山恵巳、村上万里子、川島 治	
欠席者(委員)氏名	栗原 肇、江袋文紀	
事務局	行田市高齢者福祉課地域包括ケアグループ 行田市機能強化型地域包括支援センター緑風苑	
会議内容	I. 前回のまとめ II. 議題 1. MCS について . 2. 「わたしの人生ファイル」について III. 今後の予定 1. MCS について 2. 「わたしの人生ファイル」について	
会議資料	(資料名・概要等) ・ICT/患者情報共有部会次第 ・行田人シリーズ化 第1話(11月発行)(案)	
その他必要事項		
会議録の確定		
確定年月日	主宰者記名	
2023年10月12日	上 村 勇 樹 ----- 藤 井 尚 子	

発 言 者	会議の経過（議題・発言内容・結論等）
藤井委員 各委員	<p>【開会】 18：30</p> <p>I. 前回のまとめ</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 人生ファイルの配布状況 2. 人生ファイルのシリーズ化に向けて <ul style="list-style-type: none"> ・次第により報告。 <p>II. 議題</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MCS について <p>現状報告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・訪問看護は、連絡会の開催が難しかったため、個別に確認している。周知が進んでいない状況が見受けられたが、興味は持ってもらえそうだった。 ・令和 5 年 10 月 5 日の集いの際に、MCS と人生ファイルの PR を行う。 ・MCS は、多職種連携ツールとしてはよいもの。PR が必要 ・MCS の使い方を忘れがちだが、使っていけばなじむのではないか。 ・医介連携協議会委員の中から、使っていくのがいいのと思われる。 ・実際は、訪問看護が最も使う可能性があるのではないか。 2. 「わたしの人生ファイル」について（前回の再掲） <ul style="list-style-type: none"> ・第 1 話原案（別紙） <p>「行田人シリーズ化 第 1 話（11 月発行）（案）」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・手に取る人は読んでくれるものであると思う。 ・実際のレイアウトは難しい可能性がある。 ・内容はよいが、量が多いのではないか。 ・人生ファイルのページ紹介もいいのではないか。

- ・内容については、原案の内容のカットも含めて、レイアウトを考えていく。
- ・原案をもとに、在宅医療・介護連携支援センターが業者に依頼する。

Ⅲ．今後の予定

1．MCSについて

- ・MCSについては、連絡会の集いで周知を試みる。
- ・訪問看護事業所へのアンケートを継続する。
- ・MCSの研修をする場合、使ってみての便利さを発表してもらい、生の声がある研修にしたらよいのではないか。
- ・操作デモをやってみるもの良い。
- ・ベンダーであるエンブレース社を呼ぶのもよいのではないか。

2．「わたしの人生ファイル」について

わたしの人生ファイルのシートについて、専門職が記入する部分を省略するなどの改訂を周知、配布とともに並行して考えていく必要があるが、引き続き意見集約していく。

【閉会】 19：15